

クリアリングハウス

仙台ニュース

夏号



(編集・発行) 2011年 8月発行

クリアリングハウス仙台

〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11

相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ内

TEL/FAX 022(254)6757

HP ; <http://kuriaringuhausu.p1.bindsite.jp/>

編集責任者 北村 芳美

『特定非営利活動法人 みどり会』を取材してきました。

平成23年7月16日に開かれたNPO法人みどり会が主催の懇談会に参加してきました。

懇談会ではたくさんの家族の方が集まり、震災後の精神障害を抱える家族の様子や悩みを話し合いました。今回は理事長の尾崎様への取材に加えて懇談会の様子とみどり会の今後の課題についてお伝えしたいと思います。

Q、みどり会の活動の目的を教えてください。

A、複雑化する現代社会において、不運にも統合失調症や神経症、うつなどの精神障害に悩む市民はますます増えている現状にあります。私たちは立ち遅れている精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を願い、家族・市民に対しては精神障害に関する知識の普及・啓発を図っています。また、障害当事者に対しては直接の生活支援を行い、もって精神障害者が自立して社会参加ができる共生社会の実現を目的としています。

Q、具体的な活動内容について教えてください。

A、当事者の家族支援と市民への啓発活動として、公開家族研修会の実施、親睦のための行事や陳情の活動を行っています。そして、障害者がより地域での生活を拓けられるための社会復帰施設の運営も行っています。これまでにグループホーム「みどりの家宮町」と「みどりの家中江」を立ち上げました。また、小規模作業所として「みどり会工房永和台」と「みどり会工房若林」を運営しています。皆様から好評を得ていた荒浜にある工房若林は東日本大震災による津波の影響で施設が流され喪失してしまいましたが、再建委員会を立ち上げ場所を若林区若林2丁目に移し「新みどり工房若林」をスタートさせるところまでできています。

Q、みどり会懇談会について教えてください。

A、一般市民公開研修会のひとつとして行っている懇談会は毎月1回開催しています。「集う・学習する・行動する」をキーワードに当事者の家族の思いや悩みを打ち明ける場として開いている会合です。震災後久しぶりの開催となった今回の懇談会は「震災後の家族の変化や困ったこと」をテーマに総勢22名の参加で会が行われました。家族が抱える悩み(荷物)を下せる場として今後も活動していきたいと考えています。

Q、今後の活動の展開や課題を教えてください。

A、今後は、仙台市の地域家族会を内包する市民活動団体として、精神障害に苦しむご本人や家族のニーズを把握しその具体化に努力していきたいです。その中でも今後増加が予想される当事者・家族からの相談支援事業の拠点づくりと他機関とのサポート体制の整備に力を入れていきたいです。

その方が例え一人だとしても相談支援や生活支援の姿勢を崩さずに今後も活動していきたいです。

NPO法人 みどり会事務局

〒981-0001

仙台市青葉区中江2-23-11 101-1

TEL/FAX 022-707-4741

施設紹介

クリアリングハウスニュースでは、施設の紹介をしております。今回は6月14日に突撃取材をしました宮城県難病相談支援センターの紹介をします。

宮城県難病相談支援センター

業務案内

宮城県難病相談支援センターは、地域で生活する難病患者やご家族の皆さんの日常生活での悩みや不安に対する相談支援、地域交流活動の促進、患者家族会団体への支援、各種情報提供などを行っています。このセンターは、難病患者等の団体であるNPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会が宮城県から委託を受けて運営しています。

●専門の相談員による相談支援●

難病相談支援員（看護師など）を配置し、難病に関する医療、福祉、介護等についてのご相談を無料で応じています。相談者のプライバシーには万全を期していますので、お気軽に安心してご相談ください。

●患者会によるピアカウンセリング●

患者会の相談員が療養上の問題や生活上の悩みなどの相談をお受けします。当事者でしかわからない悩みや問題について、同じ立場で一緒に考え、問題解決に向けたお手伝いをします。

●講演会・研修会の開催●

患者さんや家族の方々、関係者等を対象に講演会や研修会を開催します。

●患者・家族等交流会支援●

疾病・療養生活、介護生活に関する情報交換等のための患者・家族等の交流会を開催するとともに、患者・家族会等が主催する活動を支援します。

●各種情報提供●

難病に関する医療・保健・福祉の情報提供をインターネット、ニュースレター等により行います。

どなたでもお気軽にご相談ください♪



宮城県難病相談支援センター

お問い合わせ

TEL:022-212-3351/FAX:022-211-1781

E-mail mpc.sendai@cyber.ocn.ne.jp

住所

仙台市青葉区木町通一丁目4番15号

仙台交通局本局庁舎 4階

～宮城県難病相談支援センターパンフレットより抜粋～

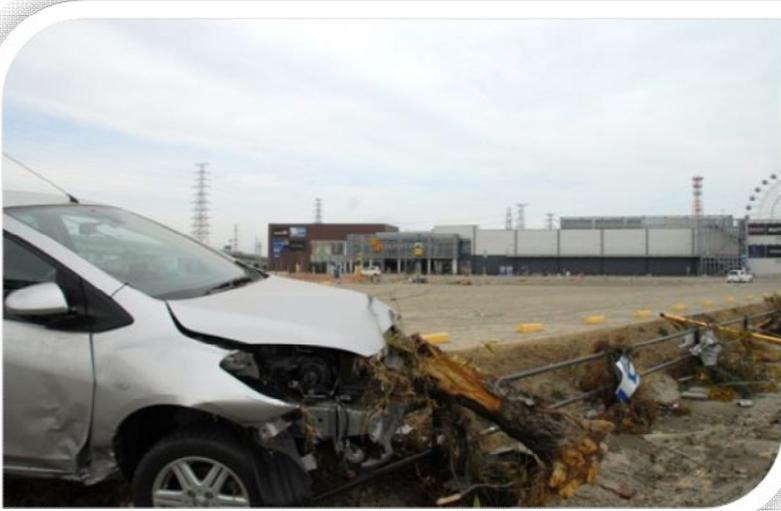


クリアリングウォッチング



今回の震災で出花、蒲生、仙台港地区などは津波の影響により甚大な被害を受けました。

震災後はいつものにぎわいはなく閑散としていましたが、震災から5カ月が経ち少しずつではありますが復興に向けて動き出しています。今回はその様子を写真でご紹介します。



3月11日の震災時は、サイレンが鳴り大津波警報が発令されました。

とにかく逃げなければと思い車を出しましたが、どこをどのように走ったか覚えていません。

震災から4日が経ち、出花に戻ってきたときには衝撃を受け言葉になりませんでした。

いつもは人や車で賑わっていた仙台港も静寂に包まれていました。

日本全国からきていた様々なボランティアの方々や災害復旧のためにきていた自衛隊の方のおかげで驚異的な速さで復旧を遂げました。

6月25日には、三井アウトレットモールも営業が再開され多くの人が仙台港に集まりました。

近くのホームセンターや家具屋さん、ガソリンスタンドも営業を再開し、少しずつではありますが以前の姿に戻りつつあります。



「被災者から復興者へ、被災地から復興地へ」

これは、ラジオで聞いた言葉です。

被災者、被災地と聞くと「かわいそう」「なにかしてあげないと」と考えてしまいます。

しかしそれを復興者、復興地と聞くとどうでしょうか。辛い経験ではありましたが、明日に向かって希望を持って過ごしていけそうな気がした言葉でした。



クリアリングハウス仙台活動報告！！

【心のネットワークみやぎ大会2010に参加しました】

平成 22 年 11 月 21 日（日）、市民活動サポートセンターで心のネットワークみやぎ主催の「心のネットワークみやぎ大会 2010」に参加してきました。代表の佐川さんは以前インタビューをした経緯があり直接声を掛けていただきました。今回の大会のテーマは「自立への道」でした。私は、会長開会挨拶での佐川さんの言葉の力強さ、凛として話をしている姿に感動を覚えました。

午前は宮城精神しょうがい者団体連絡会議議長の山本氏の講演やACTを利用している心のネットワークみやぎ会員の方の体験談発表もありました。大きなリボンをつけてとてもユニークに、誰にでもわかりやすくACTについて説明していました。発表終了後には会場が大きな拍手に包まれていました。

午後からは、①恋愛と結婚について②私にとって仕事とは③誤解・偏見・差別について④なんでも語ろう！ピアカウンセリングの4つにわかれて文科会を行い、各会場とも大いに盛り上がりました。

閉会の際には、「また 2011 年に会いましょう。みんなひとりじゃない」の声と共にまた会う日までを合唱し、会が終了しました。これからも心のネットワークみやぎの活動を応援して行きたいと思います。



《HPで活動を紹介しませんか?!》

「クリアリングハウス仙台」では、昨年からホームページを立ち上げています。取材を通して皆様の会の紹介やイベントのお知らせを行っています。また、支援センターや当事者の会、家族会とのホームページのリンクも受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください♪

(連絡先) クリアリングハウス仙台 〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11

TEL/FAX 022(254)6757

担当 大泉

編集後記

毎日暑い日が続いていますが皆様体調は崩されていませんか？

「今年の夏は例年より暑い夏となりそうです」と毎年テレビやラジオで耳にしますね！

水分をしっかり摂って熱中症に気をつけましょう！！



大泉 智教